



妙高小学校



所在地 妙高市大字関山 2785 番地

電話 82-2012 FAX 82-4262

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/myoko-s/>

1 学校の概要

- (1) 創立 平成 17 年 4 月 1 日
- (2) 教職員 校長 清水登紀子 教頭 松本高志
教諭 11 名 養護教諭 1 名 主事 1 名
図書司書 1 名 教育補助員 1 名
特別支援教育支援員 3 名 用務員 1 名
ALT 1 名 スクールサポートスタッフ 1 名
計 23 名

(3) 学級編制

学 年	学級	男	女	合 計
第 1 学年	1	8	6	14
第 2 学年	1	8	6	14
第 3 学年	1	10	11	21
第 4 学年	1	6	7	13
第 5 学年	1	11	7	18
第 6 学年	1	5	9	14
特別支援	3	8	0	8
合 計	9	56	46	102

2 学校経営の基本構想

(1) 学校の課題

- ・ 主体的に考え、行動（学習）する力の育成
- ・ 自己肯定感を高めるとともに、多様な価値観を認め、相手の立場に立って考え行動する力の育成
- ・ 家庭学習やメディアコントロールなど、自分の生活をよりよくしていく自己教育力の育成
- ・ 自分から元気にあいさつする態度の育成

(2) 学校経営の方針

- 学級経営を大切に
 - ・ 一人ひとりをいかしきる・あたたかい学級
 - ・ 「今日も楽しかった」と思える日の積み重ね
- 日々の授業を大切に
 - ・ 子ども主体の「分かる」「楽しい」授業
 - ・ 自己教育力を育む・授業の中で社会性を育む
- 子ども・保護者・地域から信頼される職員集団
 - ・ 高い人権意識・温かく丁寧にかかわる
 - ・ 職員間の情報交換を確実に

3 教育目標

「なかよく かしくく たくましく」

4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標
気づき 考え 行動する子
- (2) 努力事項
- ・ 「分かる」「楽しい」「ワクワクする」授業づくり。「ayumi」を活用した自己教育力の育成。
 - ・ 互いのよさを認め合う場の設定。子ども主体の特別活動の充実。自分から元気にあいさつ。
 - ・ よりよい生活習慣を身に付ける場の設定。運動への意欲を高める授業改善と場の工夫。

5 研修計画

(1) 研究主題

『自分の学び』を作り出す子どもを育てる
～自ら踏み出し、仲間と共に歩み続ける単元の開発～

(2) 研究主題について

AI 技術の浸透や多様性が叫ばれる中、社会生活は大きく変化し、学校教育もまたその存在の意味を問われるようになった。学校に集まって学ぶ意味は何か。学校教育に携わる教師である私たちはこの問いに自分たちの存在意義をかけて答えていかなければならない。この 1 年間、「それって学校教育ならではの学び？」と自問しながら、職員一丸となって研修に取り組んでいく。

(3) 研究主題の定義

- ① 『自分の学び』とは、仲間と共に「追究」し辿り着いたその子らしい「考え」や「意味づけ」
- ② 「自ら踏み出す」とは、新たな「疑問」や学びを生活や経験に繋げて考えようとする姿
- ③ 「仲間と共に歩み続ける」とは、仲間と協働し、互いの考えを聴き合いながら、より深く学ぼうとする姿

(4) 研究方法

- 一人 1 公開授業（教科は自由）
- 外国語研究授業各学年部 1 名公開（全体研究授業と兼ねることができる）
- 『自分の学び』のプレゼンを行う。

6 SDG s 推進計画

- SDG s 3：一人ひとりが安心して過ごせる学級・学校を創造する。令和 5 年度より委員会活動を廃止し、新たに SDGs つばさプロジェクトを立ち上げた。児童自らが自分の個性を生かした社会貢献活動を実施する。
- SDG s 4：各学年の活動に合った SDG s ターゲットを掲げ、生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域や関係機関と連携し「ほんもの教育」を実践する。

7 主な行事の予定

- 4 月：始業式、入学式、交通安全教室、1 年生を迎える会
5 月：避難訓練、つばさ運動会
6 月：5 年自然教室、6 年修学旅行、学校保健委員会
7 月：終業式、個別懇談
8 月：始業式
9 月：親善陸上大会
10 月：マラソン大会、就学時健康診断、つばさ発表会
11 月：市音楽発表会、いじめ見逃しゼロ集会
12 月：個別懇談、終業式
1 月：始業式、校内書き初め大会
2 月：移行学級、スキー教室
3 月：6 年生を送る会、終業式、卒業式